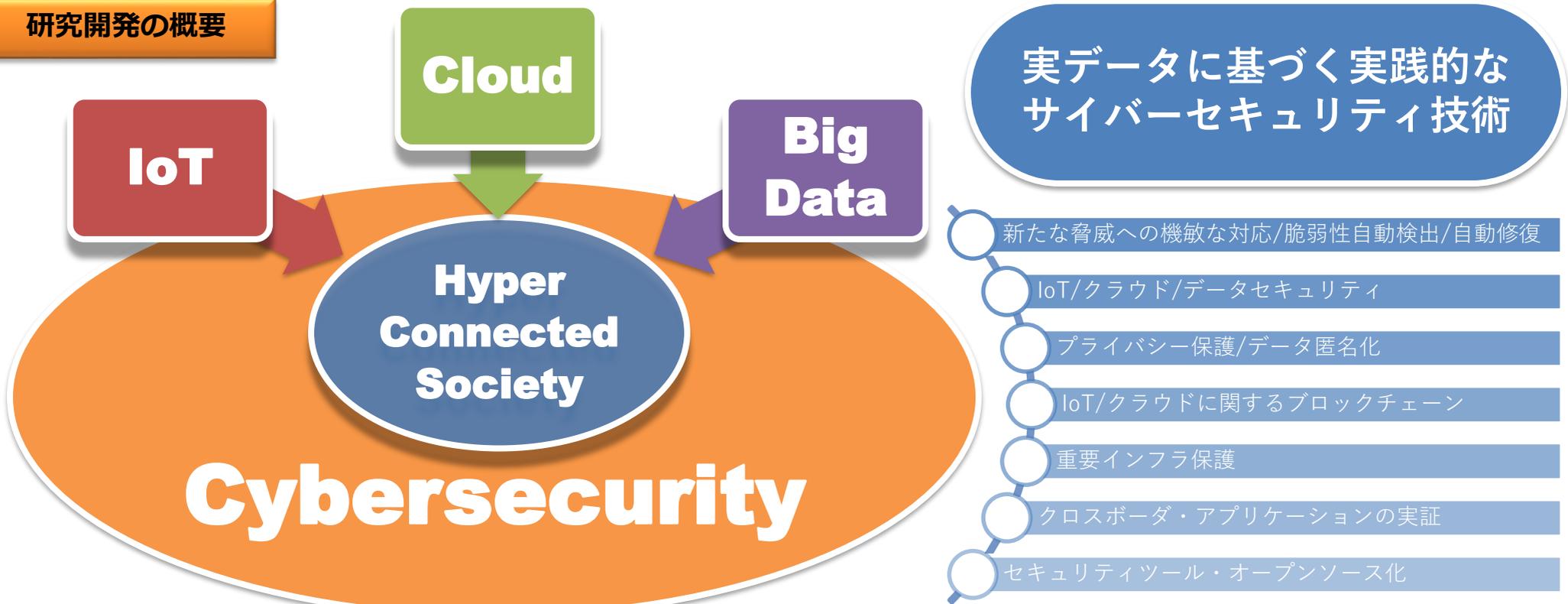


# 課題195 欧州との連携によるハイパーコネクテッド社会のためのセキュリティ技術の研究開発 (英語名 : Advanced technologies combining Security, IoT, Cloud and Big data for a hyper-connected society)

ハイパーコネクテッド社会の実現に向けて、実践的なサイバーセキュリティ技術の研究開発は不可欠である。そのため、新たな脅威への機敏な対応、脆弱性自動検出/自動修復、セキュリティツールのオープンソース化、IoTセキュリティ、クラウドセキュリティ、データセキュリティ、プライバシー保護、データ匿名化、IoT/クラウドに関するブロックチェーン、重要インフラ保護、クロスボーダ・アプリケーションの実証といった、セキュリティ、IoT、クラウド及びビッグデータを組み合わせた先端技術の研究開発及び実証が必要である。これらの実践的な研究開発に欧州と共同で取り組むことにより、世界規模で有効かつ実効性のあるサイバーセキュリティ基盤技術の構築を目指す。

## 研究開発の概要



## 本委託研究の目的

ハイパーコネクテッド社会実現に向けて必要不可欠なサイバーセキュリティ技術を構築する。特に、欧州と連携することにより有効かつ実効性の高い技術を確認することを目的とする。

研究開発期間：契約締結から36か月間

研究開発経費：各年度上限62百万円/1件（総額上限186百万円/1件）、採択件数：1件

採択評価：日本側評価委員および欧州側評価委員が合同で行う

（欧州側Horizon 2020 提案者との共同研究プロジェクトとして提案することが条件）